

令和元年度 自主防災組織に関するアンケート集計結果

目次

1. アンケートの概要	2
2. アンケートの結果	3
(1) 自主防災組織の実態について	3
(2) 地区防災計画※について	6
■自主防災組織に関するアンケート（アンケートシート）	8

令和2年3月

津市 危機管理部 防災室・各総合支所 地域振興課

1. アンケートの概要

○アンケートの目的

自主防災組織における活動状況とその課題を改めて把握することで、今後の地域防災力の向上に役立てていくため。

○アンケートの対象

津市内の831の自主防災組織等

○アンケートの方法

郵送にて各自主防災組織等の会長に送付及び回答依頼

FAX、電子メール、郵送、市関係機関への持参のいずれかの方法にて回収

○アンケート期間

令和2年2月27日から令和2年3月18日まで

○アンケート配布数及び回収数

対象地域	配布数	回収数	回収率
津全域	831	554	66.6%
津	328	214	65.2%
久居	126	70	55.5%
河芸	25	18	72%
芸濃	52	34	65.3%
美里	16	16	100%
安濃	46	32	69.5%
香良洲	1	1	100%
一志	48	40	83.3%
白山	66	39	59.0%
美杉	123	90	73.1%

○注意事項

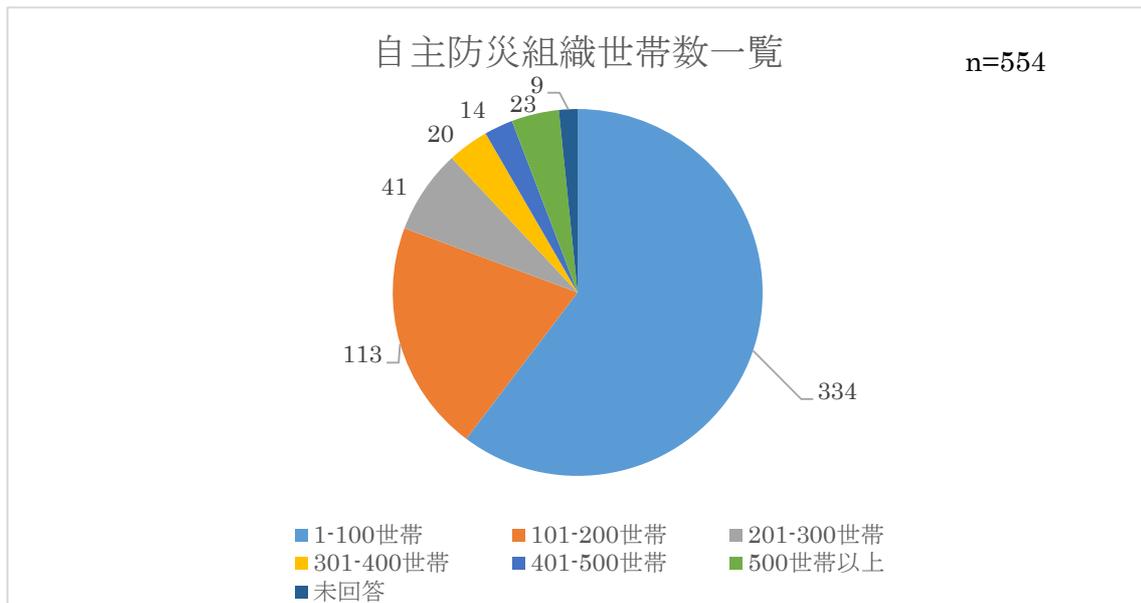
- ・各設問は無回答を含めて集計している。
- ・図表中の構成比率は、小数点第2位以下を切り捨てしている。
- ・図表中の「n」（Number of samplesの略）は、設問に対する回答者の総数を示しており、回答者の構成比（%）を算出するための基数である。

2. アンケートの結果

(1) 自主防災組織の実態について

質問1 世帯数について

○世帯数で最も多い組織は、5, 500世帯、最も少ない組織は、3世帯であった。



質問2 令和元年度の地域防災力強化推進補助金の活用について

○自主防災組織のうち 組織が当該補助金を活用していた。

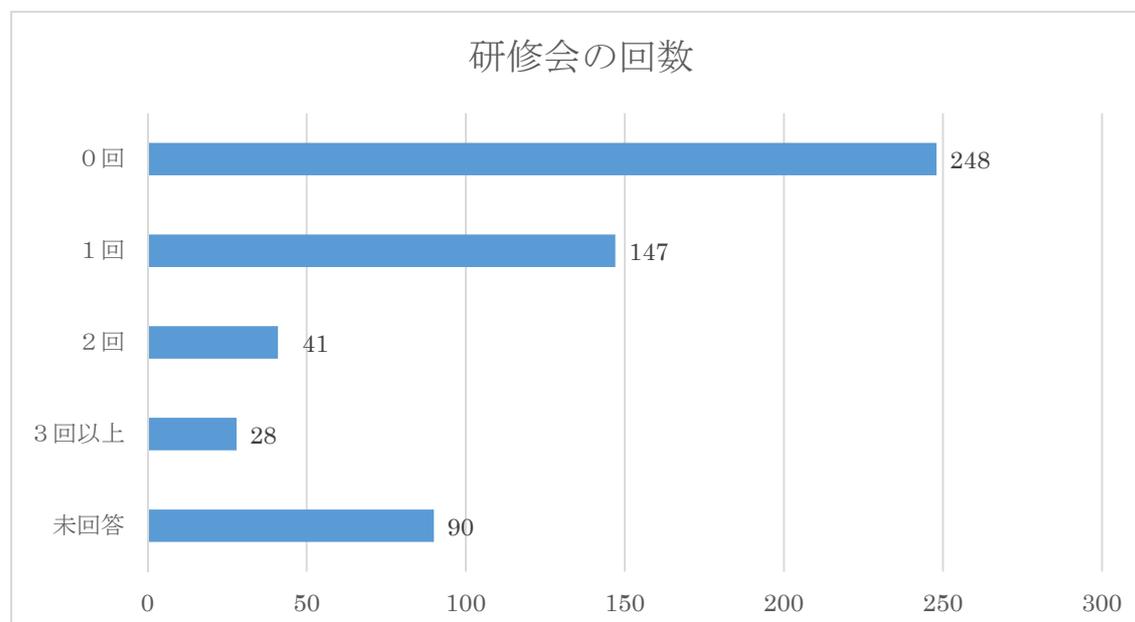
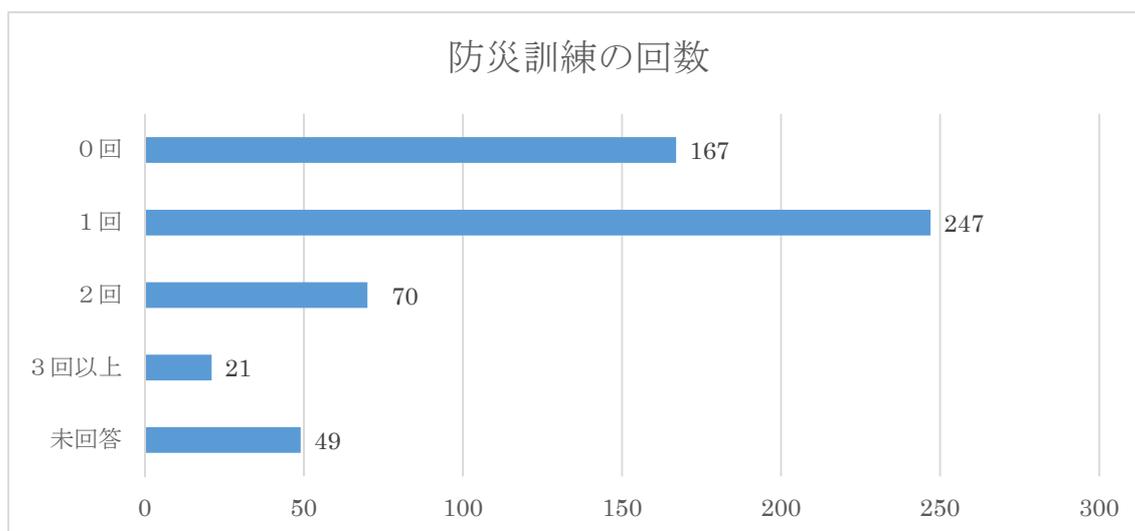
【令和元年度地域防災力強化推進補助金 記載項目】 n=554

項目	組織数
令和元年度の地域防災力強化推進補助金を活用している	221
令和元年度の地域防災力強化推進補助金を活用していない	322
未回答	11

質問3 令和元年度の防災訓練・研修会の回数について

○防災訓練の回数については、1回が最も多く、1回もしていないところが2番目に多い傾向にあった。

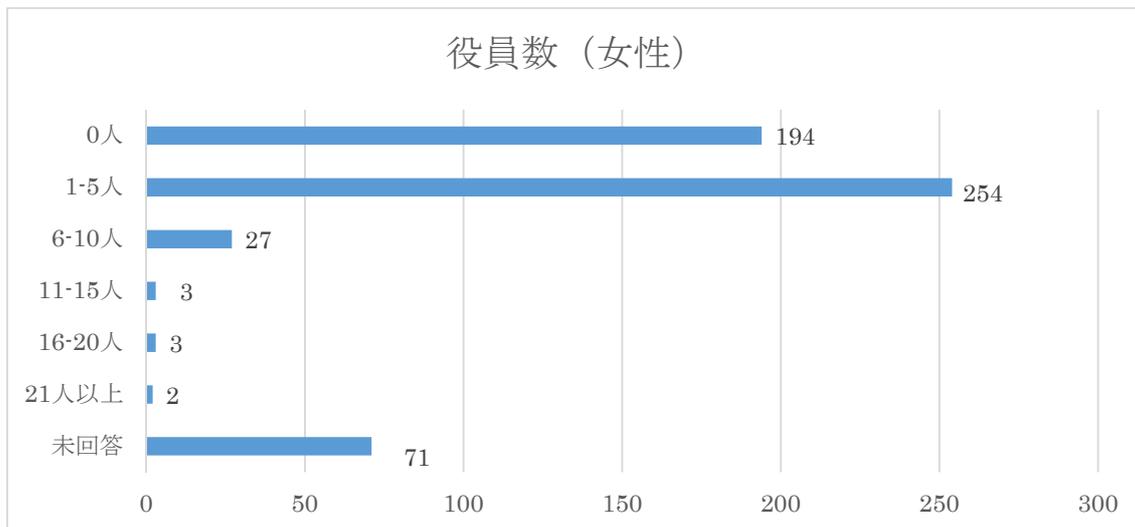
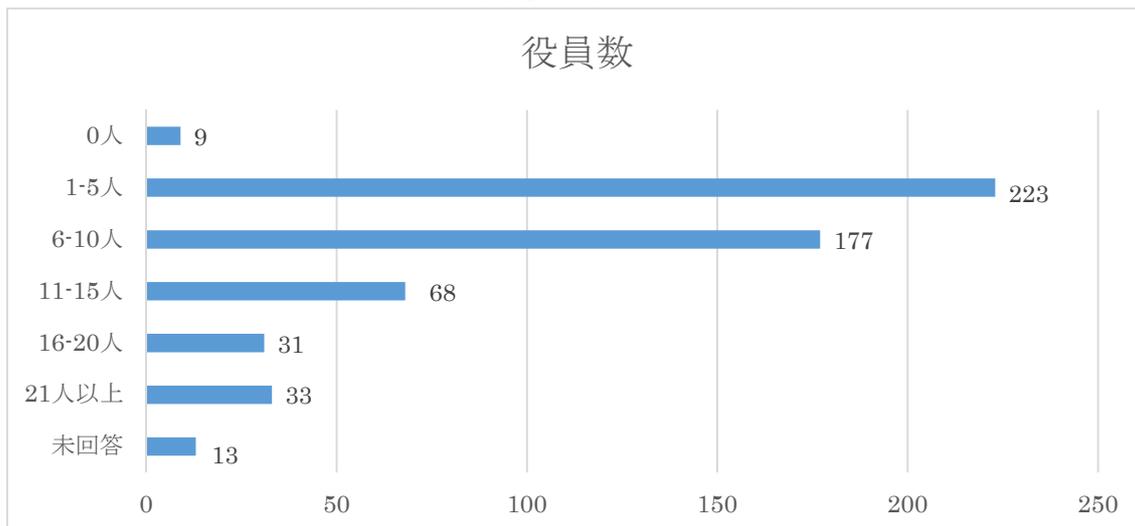
研修会の回数については、1回もしていないところが最も多く、1回が2番目に多い傾向にあった。



n=554

質問4 役員数について

○役員数については、1から5人までの組織が最も多く、女性の人数についても同様に1から5人までの組織が最も多い傾向にあった。



n=554

(2) 地区防災計画※について

※地区防災計画とは、地区居住者等が行う自発的な防災活動に関する計画です。

質問5 あなたの自主防災会では、防災活動に関する計画はありますか

○防災活動に関する計画を作成している組織は、205組織であった。

【防災計画 記載項目】

n=554

項目	組織数
防災計画を作成している	205
防災計画を作成していない	336
未回答	13

質問6 地区防災計画を策定する場合は、津市への報告が必要となりますが、あなたの地域では、地区防災計画を策定する予定又は希望はありますか？

○地区防災計画を策定する予定又は希望があると答えた組織は134組織であった。

【防災計画 記載項目】

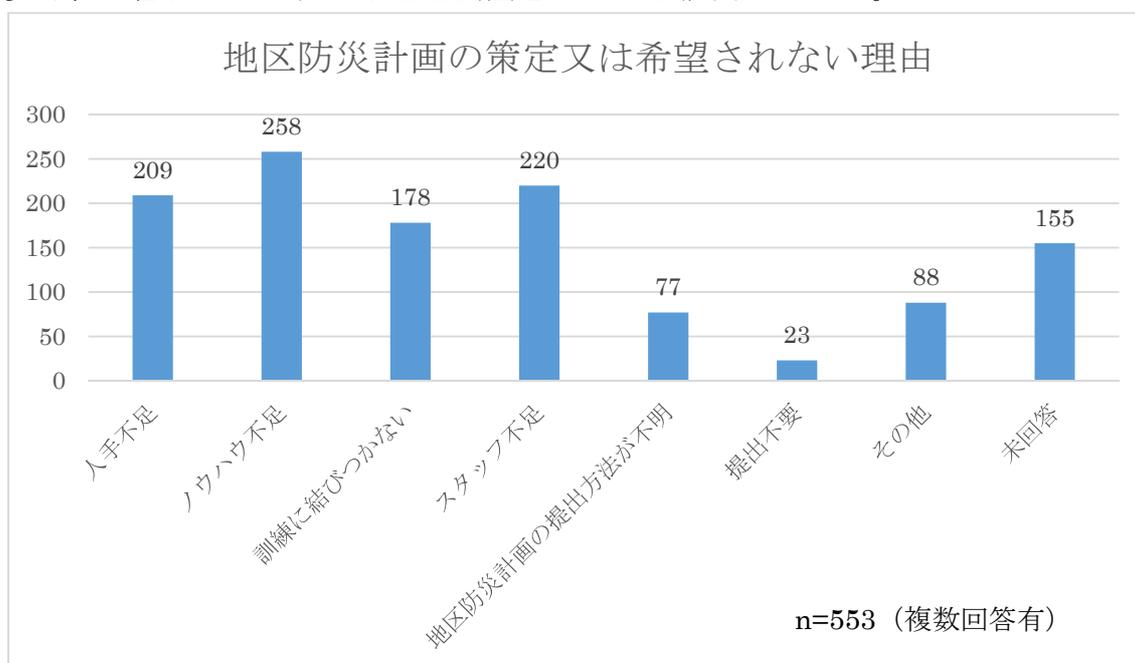
n=554

項目	組織数
防災計画を作成している	134
防災計画を作成していない	386
未回答	34

質問7 地区防災計画を策定又は希望されない理由は何ですか。該当するもの全てにチェックしてください。

- 計画策定の人手がない。
- 計画策定のノウハウが不足している。
- 計画を策定してもその後の訓練に結びつかない。
- 計画策定のためのスタッフが不足している。
- 津市への地区防災計画の提出方法が不明である。
- すでに計画として整っており、津市へ提出する必要がない。
- その他（ _____ ）

○地区防災計画の策定又は希望されない理由については、ノウハウ不足が最も多く、2番目にスタッフ不足を要因としている傾向にあった。



※個々の回答については、別途個表に記載しております。

■自主防災組織に関するアンケート（アンケートシート）

津市自主防災組織活動状況調査

自主防災組織に関する活動状況調査のお願い

令和2年2月

平素より、地域防災力の向上に御協力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、近年、大阪府北部地震や西日本豪雨の発生、北海道胆振地震等、災害により甚大な被害が生じています。また、津市においては、南海トラフ地震が今後30年間で70%から80%の確率で発生すると危惧されている中、これらの大規模な災害が起こった場合、その被害を最小限におさえるためには、市民、自主防災組織、行政の各主体がそれぞれの責務と役割を理解し、互いに連携していくことが重要です。

今回のアンケート調査は、自主防災組織における活動状況を津市ホームページに掲載することにより、今後の地域防災力の向上に役立てていくことを目的として、全ての自主防災組織を対象に実施いたします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

— 記入に際してのお願い —

- 御意見を自由に記入していただくところがあります。
- 記入が終了しましたら、もう一度、記入漏れがないか確認してください。

【回答期限】 令和2年3月18日（水）

このアンケート調査について、御不明な点については、下記担当までお問い合わせください。

○津市危機管理部防災室（TEL 229-3104）

○各総合支所地域振興課

久居総合支所（TEL 255-8816）

河芸総合支所（TEL 244-1700）

芸濃総合支所（TEL 266-2510）

美里総合支所（TEL 279-8111）

安濃総合支所（TEL 268-5511）

香良洲総合支所（TEL 292-4374）

一志総合支所（TEL 293-3138）

白山総合支所（TEL 262-7011）

美杉総合支所（TEL 272-8080）

自主防災組織名			
会長名 (非公開)		記入者名 (非公開)	

(記載した内容は、取組の参考例として、津市ホームページ上に公開いたします。)

1 自主防災組織の実態について

- (1) 世帯数について (_____世帯)
- (2) 令和元年度の地域防災力強化推進補助金の活用について
 活用している 活用していない
- (3) 令和元年度の防災訓練・研修会の回数について
 訓練 (_____回) 研修会 (_____回)
- (4) 役員数について
 (_____人) うち女性 (_____人)

2 地区防災計画[※]について

※地区防災計画とは、地区居住者等が行う自発的な防災活動に関する計画です。

- (1) あなたの自主防災会では、防災活動に関する計画はありますか
 はい いいえ

(2) 地区防災計画を策定する場合は、津市への報告が必要となりますが、あなたの地域では、地区防災計画を策定する予定又は希望はありますか？

- はい → 3へ いいえ → 2(3)へ

(3) ((2)でいいえとお答えになられた場合、) 地区防災計画を策定又は希望されない理由は何ですか。該当するもの全てにチェックしてください。

- 計画策定の人手がない。
- 計画策定のノウハウが不足している。
- 計画を策定してもその後の訓練に結びつかない。
- 計画策定のためのスタッフが不足している。
- 津市への地区防災計画の提出方法が不明である。
- すでに計画として整っており、津市へ提出する必要がない。
- その他 (_____)

3 その他

自主防災会で取り組んでいる事例、他の自主防災会の参考となる事例がありましたら、簡潔に御記入ください。

また、活動内容を津市ホームページ上に掲載されたい場合は、津市危機管理部防災室の電子メール (229-3104@city.tsu.lg.jp) までA4サイズで1枚のPDFデータにより提供ください。

調査に御協力いただき、誠にありがとうございました。